

SDGs /
環境をもう一度、
じっくり考える
講座

2022年3月市民公開講座にて、リクエストが多かった環境問題をもう一度、視聴できます。非常に有意義な講座ですので、皆様、ご視聴ください。

いまさら聞けない
SDGsのこと

電気電子情報工学科
小室 貴紀教授

SDGsと
食品ロスの削減

管理栄養学科
原島 恵美子准教授

環境中のプラスチック・
デブリのあれこれ

応用化学科
高村 岳樹教授

地球温暖化を抑制するための
植物からのプラスチック原料の製造

応用バイオ科学科
仲亀 誠司准教授

日常に欠かせない
プラスチックと環境問題

応用バイオ科学科
和田 理征准教授

オンライン公開講座申込から視聴までの流れ

申し込み

- 1 パソコンやスマホで、URLのアドレスにアクセスし、申し込み登録してください。または、QRコードを読み取って、申し込み登録してください。

申し込み用QRコード▶



- 2 わからない場合は以下のメール、電話番号に問い合わせをしてください。



講座視聴

- 1 講座の動画を掲載したURLをお知らせします。9月中に申し込みの方には10月3日(月)にメール致します。10月1日(土)以降にお申込みの方には、申し込み翌日(平日)にメールでお知らせします。



- 2 URLをクリックすると、講座のタイトル・概要が画面に表示されます。



- 3 聞きたい講座をクリックして、視聴してください。(いつでも・何度でも、どの講座でも視聴できます)



- 4 各講座の簡単なアンケートにご協力ください。今後の参考にさせていただきます。

ぜひ、関心を広げていろいろな講座を視聴してみてください。
この市民公開講座を通じて、皆さんの生活が豊かなものになることを願っています。

誰でも、いつでも、楽しく学びたい

秋の
KAIT
市民公開講座の
お知らせ 受講無料
ONLINE

講義タイトルやあらましをご覧になって、
関心のある講義動画を開いて、ぜひ聴講してください。

“With コロナ”の時代こそコミュニティとのつながりを持ちながら、私たち一人ひとりの持てる個性を発揮し、知識、経験などを地道に積み重ね、そして生活の豊かさを追求していくことが大切です。そこでこの度、今日的なテーマをたくさん用意した「KAIT市民公開講座」を開講します。きっと、生活のヒントになったり、視野を広げることになり、そして知的好奇心を高めることになるでしょう。どなたでも無料で受講できますので、気楽にお申込みください。

講座内容

21講座を6つのカテゴリーに分けています。(1講座は集中できる30分程度です)

- 1 eスポーツの魅力
- 2 これからの暮らしを拓く
- 3 SDGsをさらに学ぼう
- 4 IoT、AIをどう学ぶ?
- 5 災害と向き合う
- 6 気分転換にこんな話題も

オンライン開催

2022年 10/10(月) ~ 12/10(土)

上記の2か月間、インターネットでいつでも・何度でも、どの講座でも視聴できます。

参加申し込み

受付期間 2022年9月10日(土)~11月末日
以下のURLまたは右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/qme68TDy6q>

(神奈川工科大学及び地域連携・貢献センターのホームページから申し込みできます)



- 主催 神奈川工科大学 地域連携・貢献センター 研究推進機構
- 協力 KAIT SDGs HUB、地域連携災害ケア研究センター

秋の市民公開講座

6カテゴリ-21講座

eスポーツの魅力

eスポーツはスポーツ? ~eスポーツの魅力と可能性~

情報ネットワーク・コミュニケーション学科

塩川 茂樹教授

eスポーツはスポーツでしょうか。単なるゲームでしょうか。本講義ではeスポーツとは何かということから始めその魅力や可能性についてお話します。

音・耳とeスポーツ!?

情報メディア学科

上田 麻理准教授

スマブラ操作時のコントローラー音って意外と人によって違うんです。上手さや体調、気分によっても変わるんです。音響学(ほぼ物理)の扉を開いてみませんか?

eスポーツのプレイヤーのスキルを映像で解析

情報メディア学科

春日 秀雄教授

eスポーツのうまい人とそうでない人にはどのような違いがあるのでしょうか?映像からプレイヤーの動きを解析する技術を紹介いたします。

災害と向き合う

避難行動に必要な体力とは? ~災害に備えるトレーニング~

基礎・教養教育センター

高嶋 渉准教授

災害時には徒歩での避難が原則であり、普段と異なる移動方法となる可能性があります。災害時の様々な場面で必要となる体力について整理するとともに、日常生活で取り組めるトレーニング方法を紹介します。

透析患者さんと医療施設のホットライン ~安否確認ツールの普及に向けて~

臨床工学科

山家 敏彦教授

自然災害の渦中においても継続しなければならない透析治療。医療施設の被災状況の伝達、透析患者さんの安否確認などが迅速、簡便に自動的に接続可能なホットライン普及への取り組みを紹介します。

厚木市の防災無線放送の音響調査と AIを用いた音源判別研究の紹介

情報メディア学科

上田 麻理准教授

神奈川工科大学では厚木市や自治体の協力を得て、防災無線放送の精度向上に関する研究を行っています。また、応用編として防災無線放送とAIに関する研究を紹介します。

厚木市の防災対策について

厚木市市長室

危機管理課

厚木市が行っている防災対策の紹介や、災害時は、自分の命は自分で守る「自助」が大切という考えから、市民のみなさんに実施してほしい日頃からの備えなどをお伝えします。

インターネットでいつでも・
何度でも、どの講座でも視聴できます。

受講無料
ONLINE

これからの暮らしを拓く

スマートホームとIoT 未来を拓くロボット技術

ホームエレクトロニクス開発学科

杉村 博准教授

本講義では、賢い家(スマートホーム)、賢い生活(スマートライフ)、IoT(インターネットですべてのモノがつながること)について広く学びます。

ロボット・メカトロニクス学科

河原崎 徳之教授

最近、我々の日常生活環境で活躍するロボットが増えてきました。これまでのロボットの歴史と現在の状況およびこれからロボットに期待することなどを概観します。

健康を映すロボットとヒト

ロボット・メカトロニクス学科

三枝 亮准教授

医者の不養生と言われるように、分かっているのに上手くできない健康の管理。ロボットが映す私の健康を私が診る、鏡の効果で解決を試みます。

SDGsをさらに学ぼう

日本と世界のSDGsの 現在とこれから

電気電子情報工学科

小室 貴紀教授

前回の市民講座はSDGsがスタートした2015年から2019年までのお話をしました。今回はその続きで2020年から2022年の状況をお話をします。企業、日本、そして世界の動きを感じてください。

身近な製品や毎日の生活にみる、 これからのライフスタイル

機械工学科

今井 健一郎准教授

1日どれくらいの電気を使っていますか? その電気はどれほどのエネルギーが意識できますか? 具体的な事例を示しながら、少しの不便を受け入れるライフスタイルを考えてみましょう。

その食べている本マグロ、 本物ですか?

応用化学科

齋藤 貴教授

マグロは誰でも大好きですが、近年、天然マグロが減り養殖産が増えてきました。今食べているマグロは本当に天然物でしょうか? 化学分析を基に天然と養殖の区別に挑戦します。

Kitchen Chemistry 2022

ホームエレクトロニクス開発学科

広井 賀子教授

世界の10人に1人は飢えている?! お肉を生産すると地球温暖化ガスが増える?! 美しく多様な文化を制限したり、美味しいものを我慢したりすることなく、この問題を解決する方法の一つは…化学的にどんな材料を、物理的にどう扱うと、食べて美味しく栄養十分になるのかを理解すること、さらには、人間が味や匂いを感じる仕組みを理解して、利用することに、ヒントが見つかりそうです。

「持続可能で健康的な食事」のために、 今、できること

管理栄養学科

野村 知未准教授

食の問題は、国や地域によって様々です。環境面、栄養面ともに課題は山積みで気が遠くなりそうですが、今、個人レベルでできること、一緒に考えていきましょう。

IoT、AIをどう学ぶ?

コンピュータが 「見る」仕組み

情報工学科

森 稔教授

近年の高精度なコンピュータによる画像の認識・理解は、どのような仕組みで実現しているのでしょうか? 歴史や応用も含めて分かりやすく説明します。

アルゴリズムの おはなし

情報工学科

田中 哲雄教授

コンピューターサイエンスの中核をなすアルゴリズムという概念について、最古のアルゴリズムと言われるユークリッドの互除法やパズル「ハノイの塔」を例に説明します。

IoTを実現する モバイル通信の歴史、 発展と現状

情報工学科

田中 博教授

IoTシステムを構築する上で必須なモバイル通信について歴史から現在の5Gと呼ばれるシステムまでを振り返るとともに、今後についても考えてみたいと思います。

AIと データサイエンスの 考え方・捉え方

情報工学科

納富 一宏教授

近年、AI(人工知能)とデータサイエンス(データ科学)に注目が集まっています。本講義ではその基本的な考え方や物事の捉え方などについて学びます。

気分転換にこんな話題も

情報と文章

情報工学科

松本 一教教授

「嫁さんになれよ」だなんてカンチューハイ二本で言ってしまうの(俄万智、サラダ記念日)文章には書く人の気持ちが表れています。情報工学科で分かるかな? こんなところにも情報技術が使われているというお話です。

音のしない傘!?

情報メディア学科

上田 麻理准教授

ちょっと毛色の変った音響の研究とものづくりの話を。余談ですが2021年に東京FMで紹介された話です。